

レファレンス だより

2012年3月号
No. 112

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2011年12月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
99	1,699	427	276	270
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
320	77	783	885	4,836

（開館日 24日 一日平均 202件）



今月のレファレンス徹底解説！

Q：アロエの効能について知りたい。またその成分が多くなる時期はあるのか。

■百科事典をひいてみる

『日本大百科全書 1(2版)』（小学館 1994年）2階 C1 R031/ニ

アロエはユリ科の多年生多肉植物。アフリカ東部、南部に特産し約180種あり、うち数種が世界各地で栽培されている。古くから下剤として利用され、古代ギリシアでは重要な輸入品であったため、アリストテレスがアレクサンドロス大王にその産地（ソコトラ島）の占拠を勧めたとある。また紀元前のインドでも、葉汁を乾燥させたものが商品として取引されたとある。

■薬用植物関連の事典を確認する

『薬になる植物図鑑』（増田 和夫/監修 柏書房 2006年）2階 E2 R499.87/ク

日本で一般的にアロエの名でよばれているのは、キダチアロエ。優れた薬効から「医者いらず」とも呼ばれる。日本には江戸時代に中国から渡来したといわれ、現在では家庭でもよく栽培されている。他、ケープアロエは医薬品の原料専用、アロエベラは保水性に優れているため化粧品の原料として利用されることが多いとある。

『世界薬用植物百科事典』（アンドリュー・シェヴァリエ/原著 誠文堂新光社 2000年）2階 E2 R499.87/ツ
火傷、すり傷、日焼けの応急処置に優れた治療薬であり、葉を開いて透明なゼリー状の部分に肌を当てる。この部分は内服でも機能し、胃潰瘍や軽い下痢症にも用いられる。葉の部分は黄色の液体を含み、こちらは下剤の働きをする。この液体は肌に用いてはならず、国によっては使用を制限しているとあり。妊娠中や授乳中は内服してはいけないとある。

■一般資料をさがす

『アロエ大百科』（主婦の友社 1996年）閉架書庫 499.87/7

成分については、野菜と同じで成長期の陽光をあびて育った露地植えのものがベスト。また主要成分であるアロイン（バルバロイン）などは、古い葉よりも新しい葉のほうに含有量が多いとある。また、1枚の葉の中でも茎に近い部分より、中央部のほうに含有量が多いとあり。成分の多くなる時期の明記はないが、成長期のもので新しい葉のほうがよいとわかる。

『アロエの効用と栽培』（肥田 和夫/著 金園社 1984年）閉架書庫 499/ヒ

アロエの成長は4月から始まり、高温多湿になる夏場は生育がとまる。9月から10月にかけて再び成長するのが普通とある。置き場所の日照時間が長いほど、葉と葉の重なりが密になり、葉肉も厚くなる。さまざまな悩みや病に対する利用法も多く紹介している。例えばにきびや吹き出物にはアロエ汁を2～3倍に薄めてパティングするとよい。また、フケや抜け毛などの髪の毛のトラブルには、アロエの葉を洗ってとげを取り、おろし汁を作る。それをフキンでこし、頭皮にすり込むとよいとある。

その他にも風邪の予防・肩こり・水虫・神経痛やリウマチ・高血圧症・冷え症・貧血・糖尿病・自律神経失調症などへの利用法や、アロエで作る酒・ジュース・天ぷら・酢の物など料理の紹介がある。



その他にもこんな質問がありました

Q：大奥で働いていた人々の給料について知りたい。また御目見以上、御目見以下でどのような職があったのかも教えてほしい。

■事典

『国史大辞典 2 う-お』（国史大辞典編集委員会／編 吉川弘文館 1980年）2階 C12 R210.03/3
大奥の項目に、大奥職制一覧あり。御目見以上、御目見以下に分けて書かれている。

■日本史関連

『定本江戸城大奥』（永島 今四郎／編 太田 賛雄／編 新人物往来社 1995年）2階 B11 210.5/7
大奥女中と御広敷役人の職制について記載あり。上臈、御年寄、御中臈など、御目見え以上と御目見え以下に分けて解説している。また、禄高についても役職ごとに記載がある。例えば、お年寄は、五十石、十人扶持、御合力金八十両、一ヶ月薪十三束、炭八俵、盆暮服拝領とある。

『図解・江戸城をよむ 大奥 中奥 表向』（深井 雅海／著 原書房 1997年）2階 B11 210.5/7
13代将軍家定および御台所付きの女中人数・1人当たり諸手当表あり。諸手当のうち、切米と合力金は年俸、扶持は女中自身と自室での召使の月々の食料、湯之木は風呂の燃料、油のうち有明は終夜燈、半夜は半夜燈の油、五菜銀は味噌、塩の代金、そのほか薪や炭が支給されていたとある。

『江戸城大奥の生活』（高柳 金芳／著 雄山閣出版 1981年）2階 B11 210.5/7
奥女中の職制について、役職名とその説明あり。給与は、11代将軍家斉の寛政年間（1789～1800）のものである大奥女中分限（大奥女中の給与表）が記載されている。それぞれ役職ごとの給与がわかる。

『図説大奥のすべて』（学研 2007年）1階 69 210.5/3*
将軍家茂公奥向女中分限高井（ならびに）席順があり、家茂時代の奥女中の給与と地位がわかる。切米は幕府の御蔵米から出される基本給、合力金は衣装への特別給与、扶持は使用人の食用米、薪は炊事の煮炊きを使う薪、炭は暖房用、湯之木は風呂の燃料用の薪、油は明かり用の油、五菜銀は下男の給与と説明がある。

Q：沖縄のユタという巫女について知りたい。

■事典

『沖縄民俗辞典』（渡邊 欣雄／編 岡野 宣勝／編 吉川弘文館 2008年）2階 D7 R382.19/オ
「ユタ」の項に「沖縄本島や南西諸島においてトランス（変性意識）状態でト占・祈願・治病などを行う民間巫女」の意と、ブラジル等の「沖縄系移民社会」における「呪術・宗教的職能者」の意が載っている。それぞれについて歴史など詳しく解説し、多数の参考資料を紹介している。

■一般資料

『沖縄シャーマニズムの社会心理学的研究』（大橋 英寿／著 弘文堂 1998年）2階 B7 163.9/オ
「沖縄のシャーマニズム現象」に「社会心理学の立場からアプローチ」をしている研究書。ユタの歴史、ユタになる過程、世界観等について調査した事例を踏まえ、図表や写真を用いて論じている。

『沖縄・奄美の民間信仰』（湧上 元雄・山下 欣一／共著 明玄書房 1979年）2階 D19 387/ウ
「ユタ」の解説で、似て非なる「ノロ」と呼ばれる女性の司祭者（また女性司祭者のみの神事組織）との比較がある。相違点の一つに、「ノロ」が「部落における公的な司祭者」であったのに対し、「ユタ」は「個人的な呪術者としての役割」を果たしてきたとある。ユタの神棚やユタの正装等の写真がある。

『沖永良部島のユタ』（先田 光演／著 海風社 1989年）2階 D19 387/ウ
ユタ（呪術者）が病氣治癒祈願や新築祭等で唱える呪詞について詳しく書かれている。
他にも『沖縄の宗教と社会構造』（W・P・リーブラ／著 崎原 貢／訳 弘文堂 1981年）閉架書庫などあり。

Q：細川半蔵頼直の機巧図彙（からくりずい）を見たいのだが、資料はあるか。

■辞典

『国史大辞典 3 か』（国史大辞典編集委員会／編 吉川弘文館 1983年）2階 C10 R210.03/3
機巧図彙の項目に「江戸時代のからくりの仕掛けの図解書。寛政8年（1796）出版。首巻・上巻・下巻から成る。首巻は掛け時計など時計の構造、上巻は茶運（ちゃくみ）人形・五段返・連理返、下巻は竜門の滝・鼓笛児童・揺盃・闘鶏・魚釣人形・品玉人形のからくりを図解。材料の選択、部品の寸法、

組立法から仕上げに至るまで、念入りに図解、ただちに製作できるようになっている」とあり。

■ 図書

『江戸科学古典叢書 3』(青木 国夫/[ほか]編 恒和出版 1976年) 2階 E6 402.10/E
復刻版「機巧図彙」首巻・上巻・下巻の収録あり。旧かなづかいではあるが、読み下し文もある。

『機巧圖彙 首巻[1] 尺時計(現代語版)』『機巧圖彙 首巻[2] 掛時計(現代語版)』
(細川 半蔵/原著 日本メカニズムアーツ研究会/翻案 LLP 技術史出版会 2010年) 2階 E13 502.1/E
現代語訳で解説あり。復元設計図のほか、各部品名称や詳細な寸法がわかる。

■ インターネット

九州大学デジタルアーカイブ【<http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/>】>ギャラリー>
鉾山・産業・技術資料>からくり訓蒙鑑草・機巧図彙
「機巧図彙」文化5年(1808)版で、首巻・上巻・下巻を見ることができる。読みは「きこうずい」となっている。

Q:「島原大變肥後大迷惑」と呼ばれた災害について知りたい。火山の噴火、地震、前山の崩壊、津波が起こったらしいのだが。

■ 事典

『日本の自然災害』(国会資料編纂会/編集 国会資料編纂会 1998年) 2階 E1 R451.98/-
日本の大地震一覧(2) 江戸時代以後に日本沿岸を襲ったおもな津波一覧(1)に概要、雲仙岳寛政噴火に詳細が記載されている。寛政4年(1792年)1月18日の夜半、雲仙の主峰普賢岳が噴火を起し、一旦は鎮まったが再び活動が激しくなって4月1日、2度の大地震により前山の半分が崩壊、海に流れ込んだ大量の土砂と岩石が島原湾から有明海の一体に大津波を引き起こした。この災害による死者は全体で約1万5千、「島原大變肥後大迷惑事件」と呼ばれたと書いてある。津波被害地域の図も載っている。

『日本被害津波総覧 第2版』(渡辺 偉夫/著 東京大学出版会 1998年) 2階 E2 R453.4/7
災害の概略と雲仙岳付近の地形と前山の崩壊の位置の図、島原半島の地形と津波の高さの図が載っている。

■ 図書

『日本の火山災害』(村山 馨/著 講談社 1977年) 閉架書庫 453.82/L
上述の『日本の自然災害』で参考文献として紹介されている図書。災害時に島原藩主松平主殿頭忠恕が居城を棄て避難したことや、災害後の幕府への被害届について確認できる。

■ 郷土資料

『島原半島史 下巻』(林 銑吉/編 国書刊行会 1979年) 郷土 2階 K26 K238.3/383/3
寛政の大變災の項目に140ページにわたって詳述されており、次章では復興についても詳しく記録されている。

Q:教育に関する言葉らしいが「ESDの10年」とは何か。

正式には United Nations Decade of Education for Sustainable Development (国連持続可能な開発のための教育の10年:国連ESDの10年)である。

■ 所蔵資料

『Resolutions and Decisions adopted by the General Assembly during its 57th session Volume I Resolutions Supplement No. 49 (公式記録)』(United Nations 2003年) 2階国連 A8 GA/57/Suppl. 49-1
2002年日本の提案により国連で制定された。公式記録決議57/254で、2005年から10年間、世界中でこの活動に取り組むことと決まっており、推進機関はユネスコである。

『未来へのまなざし:アジア太平洋持続可能な開発のための教育(ESD)の10年:ESD実践事例集』
(ユネスコ・アジア文化センター 東京 2007年) 2階国連 A1 070.13 ACCU/ '07
本書はESDに関して、アジア太平洋地域における草の根活動、基調講演、事例発表、および視察現場の実践事例をまとめたもので図表も多数ある。

■ インターネット

Official Document System of the United Nations【<http://documents.un.org/welcome.asp?language=E>】
Simple Search>SymbolにA/RES/57/254を入力>PDFで本文閲覧可

公益財団法人 ACCU Asia Pacific Cultural Centre for UNESCCO (ユネスコ・アジア文化センター)
【<http://www.accu.or.jp/jp/index.html>】>持続可能な開発のための教育>「続きを読む」で内容がわかる。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『最新 文化賞事典 2003-2010』

(日外アソシエーツ／編 日外アソシエーツ 東京 2011年) 2階C1 R377.7/4/ジソメイ5

現在、国内の団体等が主催している各種の賞のうち、代表的栄典である文化勲章をはじめ、文化・学術、経済、ジャーナリズム、教育、出版、福祉、国際交流などの分野の主要な賞、287賞について収録されています。

内容は、2003(平成15)年～2010(平成22)年の各賞の受賞者名が記載されているだけでなく、賞の由来・趣旨、主催者、選考委員、選考方法、締切・発表、賞金についても書かれており、賞の概要を知ることができます。さらに、受賞者名索引により、個人の受賞歴も一覧できるようになっています。なお、文化賞の過去の記録については、同じ出版社から、1989年に「文化賞事典」その後、6～7年おきに追補版が出版されています。また、このほかに、「文学賞」「音楽・芸能賞」「美術・デザイン賞」「科学賞」の各事典が出版されており、所蔵しています。

使ってみました！⇒“福岡アジア文化賞”を調べる！

■賞の概要・・・主催者は福岡市。アジア文化の価値を認識し、その文化を守り育てるとともに、アジアの人々が相互に学び合いながら、幅広く交流する基盤をつくることに貢献することを目的として、平成2年に創設とあり。授賞式は毎年9月、賞金は大賞500万円、学術研究賞、芸術・文化賞は各300万円。

■受賞者・・・受賞者名と受賞業績について紹介あり。

図書館活用術 ～パスワードについて～

パスワードって何？



図書館利用者カードをお持ちの方はどなたでも、ご自身のパスワードを登録することができます。パスワードをご登録いただくと、便利になることをご紹介します。

館内の検索機で

○お調べになった本の情報画面から、直接予約ができます。

○ご自身の借りている本の冊数や貸出期限がわかります。

貸出期限内で他の人の予約が入っていない本でしたら、**貸出延長**(1回のみ、その日から2週間)ができます。

○予約待ちの本の書名と順番がわかります。

＜こんなときに貸出延長＞
どうしても、読み終わらない
本が1冊あるんだけど...



ご自宅のパソコンでも館内の検索機と同じことができます。

(ご予約はメールアドレスのご登録が必要です)

お電話で 092-852-5050 にお電話いただき、自動音声のガイダンスにそって、利用者番号、パスワードをプッシュしていただくと、ご自身の貸出、予約状況の確認ができます。

パスワードの登録方法

＜館内の検索機で＞ ログイン→パスワード申請 画面のガイドに沿って入力 →申請

＜インターネットで＞ 福岡市総合図書館HP トップページ ログイン認証→ログイン→パスワード申請 画面のガイドに沿って入力 (メールアドレスは必須。図書館からの info@toshokan.city.fukuoka.jp のメールを受信できれば、携帯メールも登録可) →申請 ※ご不明の点はおたずねください。

3月総合図書館の特別整理期間(休館)のお知らせ



年に1度の特別整理期間。本の点検や書棚整理や移動など通常できない作業を行います。総合図書館は下記の日程で休館いたします。ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承下さい。

3月5日(月)～3月14日(水)